

六花の輝き

<教育目標>

喜んで登校し、
生き生きと学ぶ子ども

〒943-0805 上越市木田3-1-25

TEL 025-523-3858 FAX 025-525-7188

E-mail takashi@jorne.or.jp

○音楽発表会

校長 遠藤 和英

2学期始めから10月上旬まで、毎年、高志小学校は一杯の音楽に包まれます。今年もそれぞれの教室から、音楽室から、体育館から、子どもたちの明るい声と伸びやかな演奏が響いてきました。音楽の授業の様子を見てみると、なんとか演奏できるようになろうとする子どもの姿と、よりよい演奏にしていきたいと子どもたちに向き合う職員の姿がありました。また、休み時間を返上して打楽器を練習したり、金管楽器を演奏したり、友達と一緒にリコーダーや鍵盤ハーモニカを演奏したりする子どもの姿も見られました。

10月11日、子どもたちが互いに聴き合う校内音楽会を行いました。どんな演奏だったか簡単に紹介します。1年生、リズムや速さを合わせることが難しい曲でしたが、みんなの気持ちをよく合わせて演奏することができた合奏でした。歌は、1年生らしい明るい声で、歌詞に合わせた振り付けも素敵でした。2年生、合奏はテンポが速くならず一定を保ち、そのテンポにそれぞれの楽器がよく合っていました。歌は、曲の盛り上がりがはっきり分かり、体育館一杯にさわやかな声が広がりました。3年生、歌詞にあるように友達のことをよく考え、きれいな声で歌っていました。合奏は、3年生らしく高音と低音に分かれ、テンポも速くなりすぎずにゆったりと演奏しました。4年生、歌は二部合唱に挑戦し、高い音の響きがよく、歌詞がはっきりと聴こえました。合奏はリズムよく、聴いている人も楽しくなるような演奏で、聴いていた3年生から「すごい」という声が聞かれました。5年生、歌は、互いの声をしっかり聴き合い、響きの美しいハーモニーを奏でた二部合唱でした。合奏は、聴いている人も気持ちよかったです。とにかく演奏している5年生自身が楽しんで演奏していることが伝わる演奏でした。6年生は、演奏もカラーガードも今年一番の出来栄えだと感じる演奏・演技でした。最後の「ジャンボリーミッキー」の演奏では、思わず全校の子どもが踊り出し、体育館が大きく揺れました。

そして、子どもたちにとっての2回目の発表が、保護者の皆様にご覧いただいた10月13日でした。保護者の皆様の目には、どのように映ったのでしょうか？

今年もとても素敵な音楽発表会になったと実感しています。この音楽発表会を創り出したのは、間違いなく子どもたちの「やる気」です。自分からもっとうまくなりたい、きれいに演奏したいと懸命に練習した子どもの主体性が、このような素敵な音楽発表会につながったと感じています。加えて、子どもの主体性を引き出した職員の力があってこそだと感じています。以前にもお伝えしましたが、今回も、それぞれの学年が選択した演奏曲が適切で、子どもが演奏への思いを描きやすかったこと、また、練習の過程で教員が適切な評価を行い、このあと何に気を付けて練習していくとよいのか具体的な方法を示し、練習できる環境を整えたこと、そのため子どもたちが自由に繰り返しかわることができたこと、かわることでそれぞれの曲への思いを一層強くしたこと……、これらのすべてが子どものやる気を引き出したのだらうと考えています。素敵な音楽会を創り上げた子どもたちと職員に感謝しています。

音楽発表会は、子どもたちの中に、大きな成就感を残してくれました。この経験を子どもたちも、職員も、今後の学校生活に生かしていきます。これからも子どもたちがたくましく学校生活を送る姿を温かく見守ってください。

高志小学校ABCD**A:あたり前のことを****B:ばかりにしないで****C:ちゃんとできる人が****D:できる人(すごい人)**